

関西大学では、21世紀にふさわしい新たな教育を実現するため、JR高槻駅北側に新キャンパスを開設する構想を策定し、2月7日に次のとおり発表しました。



明治19年(1886年)、関西法律学校として大阪・西区の願宗寺に開校した関西大学は、平成18年(2006年)11月4日、創立120周年を迎えます。学校法人関西大学としては、この創立120周年を本学のターニングポイントと考え、新たな構想のもとで21世紀の教育機関にふさわしい学園の創造を検討してきました。

ご高承のとおり本学は、幼稚園、中学校、高等学校、大学、大学院を有する総合学園ではありますが、小学校はありません。初等教育から高等教育までの一貫教育を標榜するとき、小学校の設置は欠かすことのできない要素であり、かねて学内外からも待望されているところです。

しかしながら、今回の構想は、単にこれまで有していなかった小学校の開設にとどまるものではなく、本学の将来像と新たな社会貢献の視点から、超高層ビルを中心とする同一キャンパス内で、幼稚園から大学院、さらには社会人教育まで実現しようという、恐らく世界でも初めての大規模な構想です。

それ故、このキャンパスでは、グローバルに活躍できる人材養成を目標とし、幼稚園から大学院まで徹底した語学教育を行うなど、本学の教育理念である「学の実化(じつげ)」、すなわち理論と実際との調和を旨とする実学教育に力点を置きたいと考えています。

一方、社会貢献の面においては、本学と提携関係にあり、新キャンパスの所在地となる高槻市が力を入れている「安全・安心の街づくり」に貢献するため、建築予定の施設に防災機能を満載し、災害時の避難場所として、その役割を果たしたいと考えています。

さらに、大学の新たな学部として、“防災”や“環境”に関係する学部の創設を検討しているところです。加えて、大学から市民への知の還元として、生涯教育の拠点となるよう、学舎内に生涯教育センターを設け、各種のプログラムを提供し、市民に開かれたキャンパスにする予定です。

キャンパスの建設予定地は、JR高槻駅北側、駅から徒歩3分の「都市再生緊急整備地域」内となります。コアサコーポレーションを中心としたプロジェクトにおいて、事業者から教育施設進出の意向確認があったこと、従前から高槻駅近くのビルにサテライトキャンパス設置の話もあったことから、本学の構想を実現するには最適の場所と判断し、これをお受けすることになった次第です。キャンパスの規模としては、敷地面積約1万平米、学舎は30階の超高層ビルと防災センター機能を有する体育館が中心になる予定です。

今後、高槻市をはじめ、国や大阪府ともよくご相談のうえで具体化を進め、できれば4年以内に認可申請を行いたいと考えています。

(関西大学ホームページより)

関大企画調査 第 33 号  
平成 17 年 12 月 2 日

高槻市長  
奥 本 務 殿

学校法人 関西大学  
理事長 森 本 靖一郎



拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。日ごろは何かと本学のためご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

本年 2 月 7 日に高槻駅前キャンパス構想について記者会見を行って以来、学外の専門機関と本学スタッフによるプロジェクトチームを編成し、新たなキャンパスの発足に向け、鋭意検討を進めているところであります。このプロジェクトの最大の関心事は、都市再生緊急整備地域がどのように整備され、いつの時点でキャンパスの建設に着工できるかという点にあります。

しかしながら、現状、本学に聞こえてくる情報は土壌汚染の深刻さや駅前整備に消極的といったような、明るい展望を持つにはいささか悲観的な話ばかりであります。

本学は、21 世紀における本学の命運をかけ、高槻駅前への進出を決断した経緯からして、不退転の覚悟であり、なんとしてもこれを実現しなければならないと考えています。

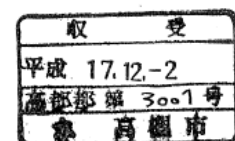
つきましては、次の事項についてよろしくご勘案いただき、倍旧のご支援を賜りたく要望する次第です。

敬具

記

- 1 現在行われている都市再生緊急整備を早急に実現していただき、本学のキャンパス建設に着工できる時期を平成 19 年秋としていただきたい。
- 2 A,B,C エリアは一体であるという構想のもとに、とりわけ A エリアについては 3 の理由及び生徒の安全確保の観点から是非とも東口を設け、駅前広場を整備し、西武百貨店の建物の建て替えを含め文教地区に相応しいものにしていただきたい。
- 3 ご高承のとおり、教育施設の周辺環境はそれにふさわしいものでなければ、大阪府等の許認可を得ることが困難になります。近隣に、とりわけ通学路に風俗営業法関連の店舗が存在するようでは認可をすることは難しいという大阪府生活文化部私学課の指導を受けていることにもご配慮いただきたい。
- 4 本学としては、当然のことながら、高槻市民を始めとして、高槻市にある企業や各種の機関及びその関係者から歓迎される存在でなければ進出する意義はないと考えています。これまでのご努力とご支援に感謝いたしますが、是非、高槻市議会として正式に本学の進出についてご審議いただき、高槻市の本学に対する支援方針を明確にしてください。

以上



関西大学新キャンパス構想 (調整状況)

| 項目 | 関大の要望内容           |                 | 現時点の状況                    | 関大の考え方  |
|----|-------------------|-----------------|---------------------------|---|
| 1  | 平成19年度着工          |                 | 平成20年度事業着手                | 平成22年春の開校が命題である。  |
| 2  | 文教地区の玄関にふさわしい駅前整備 | JR東口設置          | JR西日本と検討会議を設置し、整備に向けて取り組む | 検討会議に参画する用意がある。   |
|    |                   | 駅前広場整備          | 庁内会議で検討中                  | 事業手法まで関大が立ち入ることはできない。   |
|    |                   | 西武百貨店の建替え       | 事業手法によって決定                |   |
| 3  | 学校設立認可への配慮        | 風営法関連店舗への配慮     | 困難                        | 関大立地がCエリアに決定したことでパチンコ店から約300m以上離れることとなり、認可上の課題から通学上の課題となっている。 |
| 4  | 高槻市の支援            | 市民や企業から歓迎されて進出  | 全庁あげて支援を行う                | 関大進出の許認可や地元対応がスムーズに運ぶように支援をお願いしたい                             |
|    |                   | 市議会に諮って支援方針の明確化 |                           | 市をあげての誘致(市が土地を用意するなど)を期待                                      |